



発行所 立命館大学新聞社
発行人 小坂橋 岳郎
京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学学生会館 BOX316
TEL | 075-465-8253 (内線 2610)
BKC支局 滋賀県草津市野路1-1-1
セントラルアーク4F
OIC支局 大阪府茨木市岩倉町2-150
A棟3F Student Lounge 内
www.ritsumeikanunivpress.com



立命館大学新聞社
TEL 075-465-8253
MAIL info@ritsumeikanunivpress.com
Twitter @Rits_Press
Facebook @Rits_Press
www.facebook.com/ritsprs/

6・7月合併号

本号の紙面

全学協議会10月開催：1・2面
天皇杯サッカーJ1に敗戦：3面
防災特集・文学特集：4面
金井宇宙飛行士OICへ：5面

文学部再編 より柔軟な学びへ

来年度から文学部の形態が大きく変わる。最も大きな変更点として、国際コミュニケーション学域と言語コミュニケーション学域が新設され、新たな2学域を含めた8学域18専攻となる。また、国際文化学域の西洋史学専攻がヨーロッパ・イスラーム専攻へ、日本文学研究学域の日本文化情報学専攻が日本語情報学専攻へと改編され、時代に対応した新たな学び方を提案する。

今年度までは、コミュニケーション学域が2回生から国際コミュニケーション専攻と言語コミュニケーション専攻に分かれていたが、その2専攻が学域に枠組みを広げる。国際コミュニケーション学域は英語圏文化専攻と国際英語専攻、言語コミュニケーション学域はコミュニケーション表現専攻と日本語教育専攻に分かれ、グローバル化に対応した教育を目指す。

Table with 2 columns: 国際コミュニケーション学域, 言語コミュニケーション学域. Lists various majors and new ones.

2019年度 全学協議会

第1回代表者会議で開催確認

7月3日、朱雀キャンパスにおいて2019年度全学協議会第1回代表者会議が行われた。代表者会議には大学(常任理事会)、学生会、院生協議会連合会、教職員組合、立命館生活協同組合の代表らが参加し、今年度の全学協議会の意義や論点を確認した。



第1回代表者会議には各パートの代表者らが出席した。昨年度の全学協議会を受け、休講措置の改善や定期試験前の学習スペースの拡大、昼食時の食事スペース増加など、既

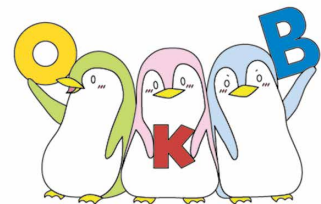
に改善が開始された。代表者会議では、今年度の全学協議会を継続する課題を確認すると同時に、協議の結果、各パートより提起された新たな論点が整理された。(吉武)

立命館大学学園祭2019

テーマ・ロゴキャラ決まる



立命館大学学園祭2019テーマロゴ



学園祭ロゴキャラクター「リッツ・ブラザーズ」

立命館大学学友会は「立命館大学学園祭2019」の開催日程を発表した。学園祭の日程はOIC祭典が10月27日、衣笠祭典が11月17日、BKC祭典が12月1日、3日間の開催となる。また、学園祭に華を添えての参加者が楽しめる「ワ

「Makes You Wonder.」というテーマは、全各キャンパスをシグネチャーのピースに見立て、それぞれが学園を構成するピースで、灰色のピースは参加者それぞれを表しているという。学園祭実行委員長の田邊正和さん(情理4)は「今年度は、学園祭に参加するすべての人が楽しめるような祭典を目指し、すでに様々な企画が動き始めている。ぜひ多くの人に来場してほしい」と語った。(吉武)

学友会全学アンケート 学生の声集める

全学協議会の開催にあわせて、立命館大学学友会では、学部長の声を集めるべく、立命館大学の全ての学生を対象としたアンケートを実施する。今回のアンケート結果は集計され、学生の意見をまとめた上で全学協議会での議論に活用される。学生生活向上のため、一人ひとりの協力が不可欠だ。(吉武)

立命館大学学友会 全学学生アンケート

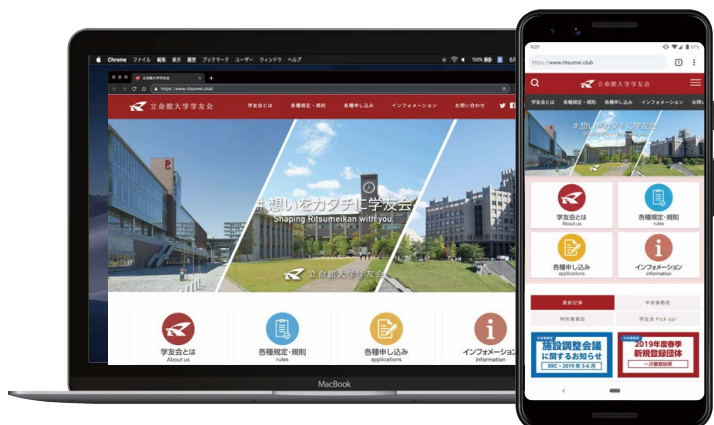


【実施期間】 7月11日~8月4日

海神

6月26日、近畿地方の梅雨入りを気象庁が発表した。観測史上最も遅い梅雨入りらしい▼中学時代、雨の日に頭痛が起きたり古傷が痛んだりするクラスメイトがいた。雨にはそんな影響もあるのかと、新鮮に感じたことを覚えている。天気は人の手によって変えられないとはいえず、人が悪天候を嘆く気持ちは消えないであろう。特に梅雨の時期は憂鬱に違いない▼一方で、そんな雨の日には出来ない経験もある。東京ディズニーランドでは、雨で夜のパレードが中止になると、代わりにミニパレードが行われる。雨の日限定のグッズが存在していることも見逃せない。また、雨の日サービスと称し、クーポン券の配布や商品の割引サービスを行う店も全国に存在する。「限定」という言葉に弱い我々は、惹かれるものがあるのではないだろうか▼どのような日でも、どのような時でも、楽しみは色々なところにある。楽しまないものはない。また、物事は自分の見方次第で多様な表情を見せる。一面的な捉え方に限定してはいけない。「あいにくの雨」に落ち込み、ただ閉じこもっているだけではもったいない。「恵みの雨」がああなたに新しい出会いをもたらしてくれるかもしれないのだから▼梅雨が明ければ、夏休みが始まる。特に1回生にとっては、大学生になって初めての長期休暇だ。夏休みをどう捉え、どう過ごすかは自分次第。物事をポジティブに捉え、自分らしい充実した夏休みを送りたいものだ。(石渡)

ALL NEW! 学友会ホームページリニューアル



Twitter @rits_gakuyukai

www.ritsumei.club

立命館大学学友会 検索



2020・2021年度の学費政策
(大学による提起)

2021年度までの学費政策では、基準授業料は据え置いた上で、以下の改定を実施

入学金
他大学と比較して高い水準の入学金を30万円▶20万円に減額

新入生特別減免
1年次授業料に適用していた新入生特別減免16万円の減免を廃止(薬学部薬学科は21万円減免→5万円減免で継続)

物価指数に基づく改定
2018年の消費者物価指数アップ率(1.4%)に基づき、授業料が1.3~3.2万円増額

現行の授業料改定方式
新年度授業料=(基準授業料)×(1+物価指数アップ率)

*2019年度以前の入学者の学費は変更なし

RS 学園通信2019 より
www.ritsumei.ac.jp/features/zengakkyo

2019年度の全学協議会に向けた大学側の見解・提起として、RS学園通信が発行された。昨年度の全学協議会からの大学の取り組みや今後の方向性に加え、2020・2021年度の学費政策について提起されている。

2020・2021年度の学費政策については、2018年度に継続検討するとして「入学定員管理の厳格化への対応」「働き方改

全学協議会 「RS学園通信」で大学側見解へ 2020・2021年度学費実質増へ

革への対応」「協創施策の推進」に関して具体的な方策や財政規模を決定する状況にはないとし、基本授業料に関しては据え置き、現行の授業料改定方式を継続するとした。その上で、他大学に比べ高い水準の入学金について、30万円から20万円に引き下げを行う。この見直しに伴う財政的な影響への対応などから、学部の1年次授業料に適用していた新入生特別減免を原則解除方式に基づいた計算の結果、増額となるとしている。

なお、2019年度以前の入学時の授業料については、入学時のまま維持となり、変更はない。

そのほか、これまでの議論経過をふまえた大学の取り組みの進捗や、今後の方向性については、6月末より学生に配布されたRS学

大勢に批判的でなかった、かの青年たちと同じ順応性で現実に応じている。今後、徴兵制はなく、我々が暴力を肯定することはないだろう。

ただ、日本の土壌は、家族制度が解体され、経済的繁栄に成功した現在も変わらない。若者が大勢に順応し、政治に対し主張することなく、現実を妥協していったら、いざ反対すべき時に声を挙げられないかもしれない。

権利を行使する習慣がなければ、民主主義は衰退する。また「終戦」のような言葉が発明されるかもしれない。

消すとされている。これにより、2020年度入学者(学部生)の学費は、2019年度入学者と比較し増加となる。これは、減収や教育条件の悪化をさせず、増収を図るものではないとして、財政規模を維持するため、入学金の引き下げ・特別減免の解消を行うという。また、授業料については、2018年度の消費者物価指数に基づくアップ率(1.4%)により、授業料改定方式に基づいた計算の結果、増額となるとしている。

「未踏事業」は、ITを駆使してイノベーションを創出できる独自のアイデアと技術を有し、それらを活用する優れた能力を持つ、突出した若い人材を発掘・育成する事業だ。採択後はIPAと委託契約を結び、資金援助を受けながら、専門のプロジェクトマネージャーのもとで事業実現を

目指して開発を行える。松井さんの今回採択されたテーマは「C++ユーザーのためのパッケージマネージャの開発」だ。パッケージマネージャは、新しいライブラリのインストールやバージョンアップなどを行うことができるソフトウェア。松井さんの開発したパッケージマネージャ「poac」は、プログラミング言語の初級者でも使いやすくすることで、新たなプログラミ



「未踏事業」は、ITを駆使してイノベーションを創出できる独自のアイデアと技術を有し、それらを活用する優れた能力を持つ、突出した若い人材を発掘・育成する事業だ。採択後はIPAと委託契約を結び、資金援助を受けながら、専門のプロジェクトマネージャーのもとで事業実現を

2018年度未踏スーパークリエイターに認定された松井健さん(情理2)

AIが司法を変える!? 嘘発見器を 本学教授が開発

今年の6月より、裁判員裁判対象事件や検察官が独自に捜査する事件の警察・検察官の取り調べにおいて、原則としてビデオ撮影が実施されることが決定した。これにあわせて、人工知能(AI)を用いた言語処理技術を使って関係者の証言を分析し、その証言の信憑性を判断する研究が進んでいる。この研究の主導者は、えん罪救済センターの代表を務める、本学政策科学部の稲葉光行教授だ。

稲葉教授の研究では、AI技術の中でも医療や社会の動向の理解などを目的として使用されているものではなく、AIが行った分析の手順(アルゴリズム)を人間が理解できるタイプのAIを使用している。これ

この件について、同課の大昔千晶さんは「今回のようなフィッシング詐欺は被害者本人が被害に気付いていない可能性もあり得る」と語る。また、学生に対しては「本学ITサポートサイト(RAINBOW)に、ネットワークに関するセキュリティ対策を掲載している。この機会にこのページを参照し、自身の情報セキュリティ対策を見直ししてほしい」と注意を促した。

(則貞、小板橋)

本学から「未踏IT人材」スーパークリエイターに認定

経済産業省と情報処理推進機構(IPA)が実施する「未踏IT人材発掘・育成事業」において、2018年度の未踏スーパークリエイターに本学の松井健さん(情理2)が認定された。

「未踏事業」は、ITを駆使してイノベーションを創出できる独自のアイデアと技術を有し、それらを活用する優れた能力を持つ、突出した若い人材を発掘・育成する事業だ。採択後はIPAと委託契約を結び、資金援助を受けながら、専門のプロジェクトマネージャーのもとで事業実現を

自身が開発したシステムを説明する赤間亮教授

AIで崩し字解読 本学教授らが開発

本学文学部の赤間亮教授らが凸版印刷(株)と共同で崩し字の解読システムを開発した。

このシステムは100万件を超える膨大な崩し字のデータをもとに、人工知能(AI)によるディープラーニング技術を用いて開発された。コンピュータ上で史料の画像を読み込み、調べたい文字を1つずつ四角で囲む。すると可能性の高い順に解読された文字が画面に表示される仕組みだ。

現在の解読精度は約90%で世界トップクラスだが、完全な自動解読は目指していない。あくまで学生が利用する教育システムとしての活用を見込んでいる。システム利用者は、他の利用者が翻刻した文章を参照できるほか、うまく解読できな

今年8月15日は、74回となる終戦記念日だ。私たち学生にとって戦争はもはや遠い記憶である。今や平和主義が浸透し、民主主義は当然のように思われ、先の大戦はただ「昔の」惨禍だと考えている。そういった意味で「終戦」という言葉は、敗戦の事実を曖昧にし、戦争が不可避で運命的という意味付けに成功した。

しかし、若者と戦争との心理的距離が大きくなるうとも、戦争へと突き進んだ日本の土壌は根本的には変わらない。その一端を表すのが若者の政治的無関心と言えよう。

その土壌は、大勢順応主義、すなわち「長い目には巻かれろ」精神で、のには巻かれろ」精神で、皇国に対する盲目的な忠誠を生み、反逆はなく、既存の秩序の中の生活に執心させた。戦後、その精神構造に対する知識

政治的無関心の源泉

人の猛省があつたが、経済発展の裏に影を潜め、現代に至る。

現代の若者の多くが、政治に対する無知や諦念から、投票権を行使しようとしめない。だから、政治に対して積極的でないし、政府の政策に反対で

大勢に批判的でなかった、かの青年たちと同じ順応性で現実に応じている。今後、徴兵制はなく、我々が暴力を肯定することはないだろう。

ただ、日本の土壌は、家族制度が解体され、経済的繁栄に成功した現在も変わらない。若者が大勢に順応し、政治に対し主張することなく、現実を妥協していったら、いざ反対すべき時に声を挙げられないかもしれない。

権利を行使する習慣がなければ、民主主義は衰退する。また「終戦」のような言葉が発明されるかもしれない。

AIで崩し字解読 本学教授らが開発

本学文学部の赤間亮教授らが凸版印刷(株)と共同で崩し字の解読システムを開発した。

このシステムは100万件を超える膨大な崩し字のデータをもとに、人工知能(AI)によるディープラーニング技術を用いて開発された。コンピュータ上で史料の画像を読み込み、調べたい文字を1つずつ四角で囲む。すると可能性の高い順に解読された文字が画面に表示される仕組みだ。

現在の解読精度は約90%で世界トップクラスだが、完全な自動解読は目指していない。あくまで学生が利用する教育システムとしての活用を見込んでいる。システム利用者は、他の利用者が翻刻した文章を参照できるほか、うまく解読できな



偽サイトには釣られるな! ID・パスワード盗まれる危険



5月下旬、本学の情報基盤課によって、学校法人立命館を騙つたフィッシング詐欺サイトが存在が確認された。このサイト上でIDやパスワードを打ち込むと、流出するおそれがあった。同

この件について、同課の大昔千晶さんは「今回のようなフィッシング詐欺は被害者本人が被害に気付いていない可能性もあり得る」と語る。また、学生に対しては「本学ITサポートサイト(RAINBOW)に、ネットワークに関するセキュリティ対策を掲載している。この機会にこのページを参照し、自身の情報セキュリティ対策を見直ししてほしい」と注意を促した。

(則貞、小板橋)

今年の6月より、裁判員裁判対象事件や検察官が独自に捜査する事件の警察・検察官の取り調べにおいて、原則としてビデオ撮影が実施されることが決定した。これにあわせて、人工知能(AI)を用いた言語処理技術を使って関係者の証言を分析し、その証言の信憑性を判断する研究が進んでいる。この研究の主導者は、えん罪救済センターの代表を務める、本学政策科学部の稲葉光行教授だ。

稲葉教授の研究では、AI技術の中でも医療や社会の動向の理解などを目的として使用されているものではなく、AIが行った分析の手順(アルゴリズム)を人間が理解できるタイプのAIを使用している。これ

KEYWORD
C++ 汎用プログラミング言語のひとつ。1983年にC言語の拡張として開発された。

ライブラリ ある特定の機能を持つプログラムを定型化し、他のプログラムが引用できる状態にしたものを複数集めて、まとめたファイルのこと。

オープンソースソフトウェア(OSS) ソフトウェアのソースコードが無償で公開され、改良や再配布が誰に対しても許可されているソフトウェア。

嘘発見器を 本学教授が開発

今年の6月より、裁判員裁判対象事件や検察官が独自に捜査する事件の警察・検察官の取り調べにおいて、原則としてビデオ撮影が実施されることが決定した。これにあわせて、人工知能(AI)を用いた言語処理技術を使って関係者の証言を分析し、その証言の信憑性を判断する研究が進んでいる。この研究の主導者は、えん罪救済センターの代表を務める、本学政策科学部の稲葉光行教授だ。

稲葉教授の研究では、AI技術の中でも医療や社会の動向の理解などを目的として使用されているものではなく、AIが行った分析の手順(アルゴリズム)を人間が理解できるタイプのAIを使用している。これ



天皇杯 横浜マリノスに1-2で惜敗

プロの壁高く

本学男子サッカー部は、天皇杯JFA全日本サッカー選手権に京都府代表として出場し、5月26日に行われた初戦で奈良県代表の奈良クラブ(JFL)を2-1で下し、2回戦へと駒を進めた。

7月4日、2回戦がニッパツ三ツ沢球技場(横浜市)で行われ、横浜F・マリノス(J1)と対戦した。試合は1-2で敗れ、本学は2回戦敗退という結果で大会を去った。

本学は前戦から2人スタメンを入れ替えて臨んだ。試合を通してゲームを支配していたのはマリノス。マリノスは背番号10の天野純を中心に攻撃を組み立てた。何度も立命側のゴールに襲い掛かった。



同点弾を決めた田中康介(産社3)

だが、本学はDF西林佳祐(産社3)を中心に、相手の攻撃の芽を摘んだ。マリノスがボールを支配する中、本学はMF藤井智也(法3)やFW延祐太(産社3)を中心に速攻を狙う。数回カウンターを仕掛けゴールに迫るが、決めきれず。両チームともゴールをこじ開けられず、51分を握るようになると51分左サイドを突破した藤井のクロスが延祐太の頭でゴールに決まり、本学が1-0と先制した。田中康介(産社3)が落ちてトラップし、ゴール右隅へ流し込み同点とした。マリノスはギアを上げ、追加点を狙う。マリノスの猛攻に耐える時間が続いた。80分、イッセイシノヅカに勝ち越し弾を許す。後半アディショナルタイムに裏に抜け出した延がキープと1対1になるが、シユートは惜しくも枠の外へ。試合は1-2で終了した。



天皇杯2回戦に挑む立命イレブン(サッカー部提供)

選考会は、今にも雨が降りそうな曇り空のもとで始まった。本学の選手は、序盤から先頭集団をリードする姿が多く見られるなど積極的な走りが目立った。第2組では吉岡遼人(経済3)が1位でフィニッシュ。夕立の中行われた第3組

男子陸上 全日本駅伝へ

関西地区 貫禄の1位通過

6月30日、全日本大学駅伝関西地区選考会が西京極陸上競技場(京都市右京区)で行われた。選考会では各大学10人の選手が4組に分かれ、1万mを走り、各校上位8人の合計タイムで順位を決める。本学男子陸上競技部は8人の合計タイムが4時間7分38秒19で1位となり、上位3校が進められる全日本大会への出場を決めた。

選考会は、今にも雨が降りそうな曇り空のもとで始まった。本学の選手は、序盤から先頭集団をリードする姿が多く見られるなど積極的な走りが目立った。第2組では吉岡遼人(経済3)が1位でフィニッシュ。夕立の中行われた第3組



第4組で先頭を争う今井崇人(スポ健4)

はその日のチーム最速となる30分20秒59。本学の2年連続の1位通過に貢献した。レース後のインタビューで今井は「今回はあまり調子がよくない。自分の走りに満足できていない」と表情を曇らせながら語ったが「夏に標高の高いところでしっかりと走り込みをし、全日本大会では区間賞を狙いたい」と意気込む。

全日本大学駅伝は11月3日に熱田神宮(名古屋)の区間106.8kmで行われる。「これからしっかりと取り組んでいきたい。引き続き応援してほしい」と語ったエースの目は、既に次を見据えていた。去年は関東以外の大学ではトップの成績だったが、上位は関東の大学が占めた。今年こそ、強豪揃いの関東勢に食い込むことができるか。(石渡)

女子サッカー 15年ぶり日本一

本学女子サッカー部が、全日本大学サッカー王座決定戦で15年ぶり2度目の優勝を果たした。沼田沙綾主将(産社4)が「快進撃」を振り返った。

「今シーズンはどういう目標で戦ってきたんですか。前半戦の目標として、関西リーグ優勝と王座決定戦での優勝を掲げました。昨年はタイトルが取れず、悔しい思いをしました。その悔しさをバネに練習から「日本一になる」と口にしなから、チーム内で意識付けをしてきました。でも、関西リーグでは5月19日の決勝戦で天理大に、日本一

になりました。象徴的なのが準決勝の東海学院大戦です。第1Qで先制を許しましたが、第3Qで逆転し、2-1で勝利しました。今までは先制されると「シユン」となることが多かったのですが、この試合は点を取らなから盛り上げて、勢いで勝ちました。

「決勝の相手は日本代表選手も多く在籍する強豪の山梨学院大でした。在学中に1回しか山梨学院大に勝つことがなかったという思いでした。山梨大は個人プレー中心のチームなので、私たちは「チーム力で勝とう」という戦術で展開で、0-0のままハーフタイムを迎えました。前

「決勝から1週間(取材時、今日も練習があるですね。王座決定戦は目標の1つではないので、次の目標である今秋のインカレ優勝に向けて始動しています。いろいろなチームが「打倒立命館」に向かってきます。挑戦者の気持ちで戦います。



見据えるのは今秋のインカレ制覇である(女子サッカー部提供)

硬式野球

継投実らず 日本一の夢ついでる

今春の関西学生野球リーグを制した本学硬式野球部が、2年連続19回目の全日本大学野球選手権に出場した。初の日本一を目指し6月10日に東海大(首都大学野球連盟)と初戦を戦った。試合は序盤から投手戦の様相を見せる。本学先発の坂本裕哉(文4)は、丁寧な投球でゴロの山を築く。一方で相手先発の山崎伊織も150キロ超えの直球で、本学打線を寄せ付けない。均衡が崩れたのは6回。東海大が好機を作ると、杉崎成輝の3塁打で先制する。しかし本学も、7回にリーグ首位打者の池上颯(文2)の好機打などで同点に追い



坂本の力投実らず悔しい敗戦となった(硬式野球部提供)

さわやかな笑顔が合否の決め手!!

面接の実は見られている! **好印象、ポイント**

- ✓手入れをした髪
- ✓パリッとした服装
- ✓笑顔が映える歯
- ✓清潔感のある爪

歯の変色や歯茎の黒ずみが気になる方 **審美歯科**

希望に応じて様々な治療法をご提案!

すきっ歯など歯並びを綺麗にしたい方 **歯列矯正**

カウンセリング無料! 即日見積OK!

前歯を治療するだけでもグッと印象が変わります!

面接では、自信に満ちた自然な笑顔は、面接官に好印象を与えることでしょ。魅力的な笑顔の大きなポイントは白い歯と美しい歯並びにあります。高度な技術を取り入れたアリスデンタルクリニックの審美治療で、理想の歯と眩しい笑顔を手に入れましょう。

欧米では歯並びが悪いことはマイナスイメージに! 海外のビジネス界では「歯並びが悪いと出世しない」と言われるほど、歯並びが重要視されています。国際化が進む中、日本でも歯列矯正の需要は急速に高まっています。面接時にチェックポイントにする企業も増えているとか。当院では、カウンセリングからアフターケアまで担当医が責任を持って行います。

白梅町 アリス歯科医院

まずはお気軽にお電話ください!!

075-462-8211

無料カウンセリング受付中

http://www.alicedental.jp

特集

あの時から1年――

防災を考え直す

西日本に未曾有の被害をもたらした大阪北部地震や西日本豪雨から1年が経過した。いつ起こるか分からない災害に向けた本学の取り組みや、防災サークルに聞く、もしもの時への備えを特集する。

生協主催 防災イベント



起震車による地震体験の様子

学生の防災意識を高めるために、生協学生委員会が主催する防災イベントが6月に衣笠キャンパス、大阪いばらきキャンパス（OIC）で実施された。衣笠キャンパスで行われた「知って得！防災」では、京都市消防局と連携して、起震車や煙体験ハウスを使用した災害体験ができるブースなどが出展した。OICで行われた「防災スタ



VRを使った水害体験の様子

模の地震が来たときに家具が固定されているか、大変なとき、避難場所、休講基準が評定されている。避難場所と休講判断については、各キャンパスで定められており、広域避難所の所在にも言及している。大地震発生時に命を守るためには、どのような準備をしておくべきなのか。衣笠キャンパスを拠点し、防災啓発を中心に活動する、学生防災サークル立命館FASTに話を聞いた。

FAST 防災サークル

重要事項として、食料品の備蓄と家具の固定が挙げられるという。食料品備蓄法は、日常生活で少し多めに買い、使用したらその分の食料品を備蓄しておくローリングストック法が有効であるという。家具については、転倒を防ぎ身体を守れるか、避難経路を確保できるか否かの確認が必要だ。

大学の 取り組み

FASTに聞いた！防災心得これだけは

普通の生活の中で

- ・保存のきく飲料水を最低3日以上備える（水は1人1日3Lが目安）
- ・枕元に足を守るためのスリッパなどを備える
- ・玄関に非常用持ち出し袋を備える（食料品、衛生用品、手袋、ヘルメット、懐中電灯、現金、ラジオ、衣類など）
- ・家具の固定を行う
- ・地域のハザードマップを持ち、危険区域や避難経路・避難場所を把握しておく
- ・災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておく

災害が発生したら

- ・落下物などから身を守る
- ・火を消し、電気のブレーカーを落とす
- ・エレベーターを使用しない
- ・スマートフォンの充電を大切に使い情報を得る手段を長持ちさせる
- ・SNSは情報リテラシーを意識し、デマに惑わされない（むやみに拡散しない）

また、特に下宿をしている学生は近隣住民との関係は「普段から挨拶をするなを築けていない人が多い。緊急時の助け合いが難しくなる」と語った。

（堀ノ内）

特集

立命文学

夏休みのお供の冊

本学には、文学の領域で卓抜な才を示す学生や教授、〇日がある。本紙は、その中から今をときめく3人の作家に取材し、自著の魅力や存分に語ってもらった。本特集が夏休みの読書習慣の一助になれば幸いである。

『異世界語入門』

本学文学部のFasahimさんの著書『異世界語入門』が話題だ。主人公、ハケ崎翠は、気がつくとも異世界に転移していった。目の前にいる少女、シヤリアに話しかけるも、全く言葉が通じない。この物語では、よくある異世界転移ものとは違い、転移後の世界で日本語が通じない。翠は異世界を生き抜くため、そして理想のハレムエンドを迎えるため、登場人物たちの手を借りながら異世界語を学ぶ。

作中で話される言語はリライン語といい、著者が独自に創作した緻密な言語だ。

著者の強いメッセージが、この作品には込められている。（波多野）



「小説家になろう」HPや、「カクヨム」HPにて、本書WEB版を読むことができる

『図書室』

第32回三島賞候補となった『図書室』（新潮社）の著者、岸教授は本学大学院先端総合学術研究科の教授を務める社会学者だ。これまで、エッセイ『断片的なもの』、『朝日出版』で紀伊國屋じんぶん大賞2016受賞、著者初の文学作品である『ビニール傘』（新潮社）は第156回芥川賞候補、第30回三島賞候補となった。2014年に、『街の人生』

（勁草書房を出版するなど、岸教授は社会学的視点で、日常の断片や「普通の人生」を拾い上げる。

「作中では、日本語の会話はない。ちゃんと作られた異世界語の会話がずっと続いている。主人公は、失敗を重ねながらも、少しずつ言語を学習していく」と、著者は作品の魅力語る。「言葉は壁ではない。単なる道具でもない。人の本質を映す鏡だ」

『図書室』の主人公は大阪でつまずく暮らす中年女性である。「私」は、ある雨の日、ふと昔日の自分を思い出す。10歳の頃、古い公民館の小さな図書室で出会った少年と、世界で2人だけになった日のことを。街の片隅で、壮大なスケールで繰り広げられた2人の妄想の世界が40年越しによりみかえる。読者が無意識に抱える孤独や不安を突き、不思議な読後感を残す。岸教授は小説を書く際、あらかじめ全体のプロットを用意せず、書き進めていく中で、その先のストーリーを組み立てるのだという。「これまでは伝統的な小説を書いてきたが、今後は小説を書くにあたって普遍的な作風にする必要がある」とさらなる意欲を見せた。本人はあくまでも社会学者だと語るが、小説家としての活動も見逃せない。

『八九六四』

「君は八九六四を知っているか？」

1989年6月4日、民主化運動の中で発生し、多数の死傷者を出した「天安門事件」。この事件を題材にした『八九六四』で城山三郎賞と大宅壮一賞を受賞した、本学卒業生の安田峰俊さんが自身の経験を語った。

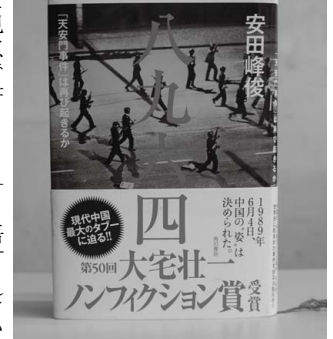
滋賀県に生まれた安田さんは、世界史が得意で、文学部の東洋史専攻に入学した。東洋史研究会にも所属し、2回生夏からは中国南部にある深圳大学に1年

間交換留学した。その体験を「僕の中国語が比較的自覚なのは、頭の柔らかい19歳の時に留学したからだ」と思う」と振り返る。

大学院を経て一般企業に就職したが、半年で退職。「好きなことをやって自己実現をした」とライター業を始めた。ただ始めは鳴かず飛ばずで「パワーポイントの効能とかも書きませんでした」と安田さんは苦笑する。「今の中国人の多くは事件への関心が薄れているのでは」という視点から、経済成長の中で風化していく民主化運動の記憶などリアルな中国の今昔を描いた。あながきには安田さんの思いが綴

た視点で書くこと」と語られていた。『八九六四』では、それまでの「かわいそうな天安門」という切り口ではなく「あの時代の中国を生きたあらゆる青年たちの、その後の人生にエールを」

「八九六四」の筆者紹介で、安田さんの肩書はルポライターである。理由を聞くと「なんか胡散臭いけれど、格好良い。自由な人生を送っているように見えるでしょ」と関連に笑った。



1989年6月4日に発生した「天安門事件」が題材のノンフィクション小説。民主化運動のリーダーなど60人以上取材している。本作で安田さんは大宅壮一賞と城山三郎賞を受賞した。

金井宇宙飛行士 OICへ 宇宙での経験語る

大阪いばらきキャンパス(OIC)の開学5周年を記念した特別企画「金井宣茂宇宙飛行士による被災地応援ミッション報告会」が7月14日、立命館いばらきフューチャープラザで開催された。本イベントは昨年の大阪北部地震の被災地応援企画だ。宇宙航空開発機構(JAXA)との共催で2部に渡って進化した。

宇宙飛行士であり、外科医師でもある金井宣茂さんは、国際宇宙ステーション(ISS)に168日間滞在。ISS内の日本の実験棟「きぼう」では、医師の経験を活かして「健康長寿」を目指した実験や船外活動を行った。

第1部は金井さんによる半年に及ぶ宇宙での生活や訓練についての講演、宇宙の実験教室、JAXA職員への質疑応答が行われ、親子連れを中心に約1000人が参加した。宇宙活動の映像やクイズなどに夢中に

なっていた子どもたちからの質問は止まらなかつた。参加した小学生の男の子は「今まで知らなかつた新しいことがわかつた。将来はロケットや探査機の技師を目指したい」と目を輝かせながら話した。

第2部はワークショップとして本学大学院スポーツ健康科学研究科の研究発表、金井さんによる宇宙医学についての講演が行われた。また、金井さんは学生

とのトークセッションや、研究ブースの訪問を通じて、学生と意見を交わした。

金井さんは「宇宙に関する未来のための新しい研究がたくさんある。将来宇宙を誰かが行けるような身近な場所にしていきたい。面白いことがたくさんある中で興味をもって熱中できることを見つけて追求していつてほしい」と今後の宇宙の可能性と学生への思いを語った。(水谷)

日本人宇宙飛行士11人目の金井宣茂さん
2017年12月から168日間ISSに滞在した。

夏休みは要注意！
医師が教える夏バテ対策

本学の各キャンパスには、保健室と診療所の機能を備えた保健センターがあり、内科医師3名、精神科医師1名、保健師4名、看護師1名が在籍している。保険診療や女子学生向けのレデイーズ相談、卒業支援などを全て無料で行っている。

夏季休暇が目前に迫った今、長い休暇を有意義なものにするために、計画を立てている人が多いだろう。しかし、長期間の休暇と夏の暑さで少しずつ生活リズムが崩れ、体調が優れなくなるかもしれない。健康な身体なくしては、充実した夏季休暇を送ることができない。

そこで今回、保健センターに在籍している内科医師の八田文裕子先生に、医師から見た夏季休暇中の過ごし方について聞いた。

まず、夏バテへの注意と対策が必要だという。夏バテには、クーラー病と熱中症の2種類がある。クーラー病とは、室内・室外の極端な気温差によって体温調節機能が乱れ、生じる症状だ。冷たい物の飲み過ぎ・食べ過ぎ、欠食、夜更かしはそれを助長するため、注意が必要がある。

一方で、熱中症の原因の多くは脱水と塩分の不足である。汗をかいた際に、水だけでなく塩分の摂取も忘れてはならない。汗が出にくくなったり、顔が赤く夏バテ対策のほかに、規則正しい生活が不可欠だ。毎日決まった時間に起床し、朝食をと

り、日光を30分以上浴びる。このような毎朝の習慣が、体内時計を正常な状態に戻す。

加えて、夏バテ対策に効果的な食事を教わった。夏バテには酢やレモンを使った酸味の強い食べ物、香辛料を使用した料理が効果的だ。香辛料は食欲増進の効果が、その香りや辛みを引き出すため、暑くても食欲が落ちないという。中食や惣菜は調理が楽で、野菜も多く摂取することができる。一人暮らしの学生(廣部、神野)

学生と企業を繋ぐ SHIRUCAFE

ガラス張りのお洒落な外観、明るく賑わう店内。一見すると普通のカフェに見えるが、「知るカフェ」はただのカフェではない。

知るカフェはスポンサー企業の協賛により運営しているため、学生はWi-Fiや電源、ドリンクを全て無料で利用できる。「学生の将来の選択肢を広げる」という知るカフェのコンセプトに賛同した協賛企業は140社を超えるという。店内には協賛企業のパフレットが置かれ、無料のドリンクを飲みながら、自分の将来を考えることができる。

また知るカフェは、学生がこれらの企業と気軽に交流可能な場である「知るカフェ交流会」も提供している。1度の交流会に参加できる学生は5名までと、人数を絞っているため、普通の説明会と比較しても、よりリアルな声を企業担当者から聞くことが出来る。

実際に交流会に参加した

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

知るカフェ・立命館大学前店
ドリンク片手にキャリア設計ができる

「若者の政治参加」識者に聞く

7月21日の参院選では、若者の投票率の低下が目立った。このように昨今では若者の政治的無関心が嘆かれている。若者の政治参加について、本学の富永京子准教授と村上剛准教授に話を聞いた。

産業社会学部 富永京子 准教授

若者は政治のハードルを高く設定しているように思われます。特に、投票によってなんらかの利害が生じるような「当事者でなければ関わってはいけない」という意識が強い。

でも臆する気持ちは分かります。例えばデモに行ったら、インターネット上で



富永京子 とみなが・きょうこ

北海道大、東京大学大学院などを経て、現在は本学産業社会学部准教授を務める。近著に「みんなのわがまま」入門(左右社)がある。

「関心があるなら声を上げてみなよ」と言うのは、既にある程度安定した職業や生活基盤を築いているある種

「関心があるなら声を上げてみなよ」と言うのは、既にある程度安定した職業や生活基盤を築いているある種

するかもという懸念があるでしょう。就職活動で何を理由に落とされるかわからないという不安もある。

そのような中で大人が

特権的な発言に基づくもの

若者が政治に関心を抱いていないというものは絶対

にありません。ただ、学生は政治に対して真面目に関

わらべきものだを認識して

います。政治に対して「真面目」だけを指す必要は

ありません。政治はその集

団全員を包摂するシステム

ですから、誰でも政治に関

わつて良いはずですよ。

大学進学も、高い授業料

の支払いも「自分が悪い」と感じてしまう。政治の前では自分はずっと「自分」のことに集中してほしい

と思います。

法学部 村上剛 准教授

若者には投票に行くためのリソースが揃っていません。そのリソースとは政治的知識や興味などです。政治的知識が無いと「今回の選挙で何がかわるのか」が

分らないです。政治は

ただ投票率の世代別推移

を見てみると、どの時代でも若者の投票率は低い

です。つまり若者の投票率の

低さは「今」の若者に限った話

ではないです。「今の若い人

たちは選挙に行かない」と

嘆かなくても、年を重ねれば、ある程度は投票に行くようになると思えます。

一方で投票率の低さが政

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

ボランティアの企画と運営

本学では毎年8月に「ナングセンター」が開催される。ナングセンターは、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

「知るカフェ」は、学生が企業と交流できる場。学生が企業と交流できる場。

立命館を彩る6輪の花

ミスキャンパス立命館2019

ファイナリスト決まる

ミスキャンパス立命館2019のセミファイナリストが7月5日、立命館いばらきフューチャープラザ1階イベントホールにて開催され、今年度のファイナリストが選出された。

12名のセミファイナリストの中からファイナリストに選ばれたのは、津田朋佳さん(文3)、西尾ゆいさん(国関2)、瀬上杏佳さん(スポ健3)、大木陽菜さん(スポ健3)、中林奈々さん(経済2)、中村桜子さん(心理2)の6名である。

本イベントでは、まず出場者の紹介動画がスクリーンに映され、次に出場者本人がミスキャンパスへの思いをスピーチした。その後は司会者との1対1のインタビューが行われ、出場者は自らの趣味や特技を披露した。

各出場者の発表が終了すると、会場内で投票が行われ、イベント前日までのWEB投票の結果と合算し、集計結果が発表され、ファイナリストが決まった。



今年度のファイナリスト。左から津田朋佳さん、西尾ゆいさん、瀬上杏佳さん、大木陽菜さん、中林奈々さん、中村桜子さん

ファイナリストが決まった。ファイナリスト決定後には、昨年度グランプリの王突満さん(心理3)と準グランプリの久木田有香さん(心理生)が登場し、今年度のファイナリストに向けて花冠と花束を贈呈した。また、王さんは「可能性は無限大だからこそ、自分を持つ選択は大切ですね。今まで経験したことのない刺激を受けて、成長しよう」と、久木田さんは「たくさんの仲間と共に、もっと輝く理想の自分を目指して頑張ってください」とそれぞれファイナリストにエールを送った。

今年度10回目の開催となるミスキャンパス立命館2019のテーマは「みつかる、新しい自分」である。ファイナリストの6名はこれから約半年間、「文化と美」というコンセプトのもと、

京都の地でさまざまな文化に触れたり礼儀作法を身につけたりしながら、自らの美しさを外面、内面ともに磨いていく。

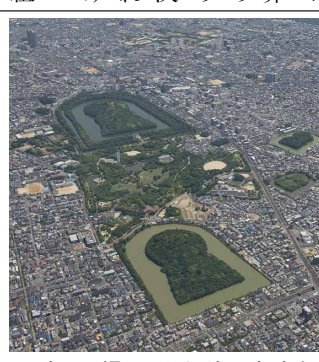
実行委員代表の三木麻里衣さん(経営3)は「ミスキャンパス立命館2019として活動できるのは、人生で一度きり。活動を通してたくさんの刺激を受け、成長し、『楽しかった!』と思ってもらえる環境を作りたい。そして、ミスキャンパス立命館をより多くの方に知ってもらいたい」と語った。

今後、秋にもWEB投票が開始され、12月8日にKBSホール(京都市上京区)で開催されるファイナリイベントにて今年度のグランプリ・準グランプリを決定する。

ファイナリストのプロフィールや今後のイベント詳細は公式「Writer」(Miss_Ritsumei)から確認することができる。(堀内、檜垣)

大阪から初の世界遺産

「百舌鳥・古市古墳群」



上空から撮影した仁徳天皇陵古墳(上)と履中天皇陵古墳(下)。光案内所での手荷物預かりや、観光タクシーの補助制度も導入されている。古墳の魅力を発信するには、堺市博物館やVR技術を使った映像体験がある。

7月6日、アゼルバイジャンのバクーで開かれた世界遺産委員会で、大阪府下の「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産への登録が決まった。これを受け、これまでとこれからの取り組みと観光対策を取材した。

世界遺産登録への取り組みは2005年にはじまり、国内で1つの文化遺産推薦候補に4度目で選定され、ようやく結実した。当初、百舌鳥古墳群のみ対象だったが、同時期成立の古市古墳群を含め、古墳時代中期の代表事例としての価値が認められた。世界遺産登録の目的は、古墳群の保護と継承だ。背景には戦後の宅地開発影響下での、古墳群の大規模な取り壊しがあつた。1955年の市民による「いたすけ古墳」の保存運動で収束したが、築造当時100基以上あつた古墳は、44基まで減少した。堺市内の宿泊施設における外国人利用者数は、4万人(2014年)から24万人(2019年)と大幅に増加している。

こうした状況を鑑み、南海本線堺駅と高野線堺東駅から仁徳天皇陵拝所前までのシャトルバスを、7月6日から運行させた。また、観光客の誘致が期待される。(藤井)

びわ湖大津観光大使 尾賀円香さん

大津市をPRするびわ湖大津観光大使に本学の尾賀円香さん(文3)と龍谷大学の川端明日香さんが就任した。

観光大使として県内外での観光キャンペーンやイベントに出演するなど、大津市の名所や文化の魅力をPRする活動を行っている。任期は5月末から約1年間の予定だ。



尾賀 円香 おが・まどか(左) 文学部3回生 滋賀県大津市出身 岡本雅史ゼミに所属し、会話分析やコミュニケーションを専攻する。人と人との間に答えられるよう、また人それぞれに合った魅力をよりよく伝えられるようにと勉強したい」と意気込んでいる。(近松)

学生が地域の魅力をPR

大津市と兵庫県の大使に立命生

フラワープリンセス 豊福海央さん

花や緑溢れる兵庫県をPRする親善大使であるフラワープリンセスひよつこ31代目のプリンセスとなった豊福さんらは5月から1年間、県内外のイベントに参加し、県産の花や県の魅力をPRする。

「兵庫県が好きであること、自分の可能性を広げたい」との思いから応募したという豊福さんは中学・高校と6年間放送部に所属し、現在は立命館大学放送局(RBC)で活動している。放送部時代から行ってきた朗読を最終審査でも披露した。「自分の声で伝えることが好き。イベントでは司会を務めることが多く、RBCでの経験が役に立っている」と活動について語った。



豊福 海央 とよふく・みお 政策科学部3回生 兵庫県芦屋市出身 立命館大学放送局(RBC)に所属し、音声技術員として活動する。Cでの経験が役に立っている」と活動について語った。(石井)

服飾をストーリーで 近美で「ドレス・コード?」展



京都国立近代美術館(京都市左京区)では、8月9日から10月14日まで京都服飾文化研究財団(KCI)と連携して「ドレス・コード?」を着る人たちのゲートを開く企画として開催する。ドレス・コードになぞらえた13のテーマに基づき「装い」の普遍性や意味について新たな発見ができる作品を展示する。

同展示会では、KCIが収集する衣装コレクションを中心に、西洋美術作品や漫画、アニメに影響を受けたファッションも多く並ぶ。標になれば」と語る。(山川)

たくさんの人に伝えたい感動や興奮。共有したい情報や想い。それらを表現できるのはたった一枚の紙の上。限られた範囲で何が出来るか。記事の構成、写真のアンクル、紙面のデザイン、見出しの付け方。伝えたいから、全てにこだわる。こだわるから、良いものが生まれる。私たちにしかできないことが、ここにある。

立命館大学新聞社
RITSUMEIKAN UNIV PRESS

80th Anniversary
おかげさまで、創刊80周年

www.ritsumeikanunivpress.com

衣笠本部 | 学生会館 3F BOX316
BKC支部 | セントラルアーク4Fアクトオフィス
OIC支部 | A棟北ウィング3F Student Lounge内

立命館大学新聞社

検索